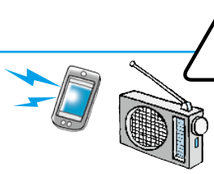
小川地区で

原子力防災訓練を実施

「市地域防災計画原子力災害対策編」に基づき、原子力発電所の不測の事態を想定した同訓練を、県などと協力して実施します。

▼とき　11月28日㈯　8時30分～
▼対象　小川地区

訓練　**11月28日㈯　8時30分**
「避難指示」が発令



○訓練の想定
浜通りを震源とした震度６強の地震が発生。福島第二原子力発電所４号機の燃料プールの水の漏えいなどにより、同発電所から30キロメートル圏内市町村が屋内退避指示となる。緊急時モニタリングにより、市内小川地区で、毎時20マイクロシーベルトを超える空間線量が計測されたため、いわき市に「避難指示」が発令される。

▼内容
①情報伝達訓練
市防災メールや、FMいわきの緊急割り込み放送で避難指示を行う（＊）ほか、小川地区本部・消防団などの車両が、地区で検討した広報ルートを巡回します。
＊市内全域に情報が伝達されますので、対象地区以外の方はご注意ください。
②住民避難訓練
「地区原子力災害避難計画」に基づき、要支援者の避難支援を実施し、一時集合場所（小川小、小玉小、小川中）に集合します。また、避難者名簿を作成し、安否確認を行います。
その後、三春町の仮想避難所に移動し、スクリーニング訓練を行うほか、一部の方は「県原子力災害広域避難計画」に基づいて柳津町に移動し、避難ルートなどの検証を行います。
◇　◇　◇　◇　◇
広域避難の手法や、避難時の課題などを確認し、緊急時に、市民の皆さんや市、関係機関が円滑に対応できる防災体制の確立を図っていきます。

住民避難訓練

○お問い合わせ
原子力対策課
☎22・1204

防災士に認証状と腕章を交付

危機管理課危機管理係　☎22-7551

今年度、新たに防災士に認証された94人の方に、10月３日、防災士認証状と腕章を交付しました。これにより、市内の防災士は274人になりました。

今後、地域の防災リーダーとして、地域における防災訓練の実施など、自主的な活動を促進し、地域の防災力を高めるために活躍していくことが期待されます。

防災の十分な意識・知識・技能を有する者として認証

原子力規制委員会委員長との意見交換を実施

原子力対策課　☎22-1204

10月19日に、原子力規制委員会の田中委員長が本市を訪問し、清水市長と意見交換を行いました。

市長から、福島第二原子力発電所の廃炉方針の早期決定や、福島第一原子力発電所に係る確実な汚染水対策、風評払拭に関する国の支援などについて要望するとともに、それぞれについて率直な意見を交換しました。

清水市長と意見を交換する田中委員長（右列手前）

災害時応援協定を締結

市は、大規模自然災害等により、市単独で十分な措置が行えない場合などに備え、遠地の自治体や各種団体との間で、食料や生活物資の供給、人員派遣などの支援に関する応援協定を締結しています。今回、新潟市および福島県タクシー協会いわき支部と、新たな応援協定を締結したことから、その概要をお知らせします。

新潟市との相互応援協定

新潟市といわき市は、「危機発生時における相互応援に関する協定」を、九月二十四日に締結しました。

日本海に面する新潟市は、大規模自然災害などで、本市と同時に被災する恐れが低いため、相互に迅速な支援活動が可能です。本市は、東日本大震災において新潟市から、さまざまな支援をいただいた実績があります。

同協定により、被災市からの要請に基づき、次の相互支援を行います。

①被災者の生命・身体の保護ならびに避難生活支援に必要な人員派遣など
②市民生活の復旧・復興等に必要な人員派遣および資機材などの提供
③被災者の一時受け入れ施設の提供およびあっせん
④食料や飲料水、生活物資、医薬品等診療材料、車両、燃料などの供給
⑤傷病者などの医療機関への受け入れおよびあっせん
⑥被災児童・生徒の教育機関への受け入れおよびあっせん
⑦被災した行政機能の補完
⑧他都市への応援などの中継基地としての受け入れ
⑨ホームページなどによる情報発信

今後は、訓練や研修の相互参加などを通じ、連携強化を図っていきます。

相互応援協定を締結した清水市長と篠田新潟市長

緊急輸送等に関する協定

市は、十月十三日、福島県タクシー協会いわき支部と「災害時における緊急輸送等に関する協定」を締結しました。

同協定により、市内に複数の備蓄拠点があり、災害時でも入手可能なLPガス（＊）を燃料とするタクシーを利用して、被災者や高齢者、医療機関関係者などの輸送が行えるようになります。

また、タクシー無線を活用して、各地域の被災状況の情報収集および市への情報提供が行われることにより、迅速な応急対策が図られることが期待されます。

＊本年八月十八日付けで、福島県LPガス協会いわき支部と「災害時応援協定」を締結しています。

県タクシー協会いわき支部との協定締結

11/25㈬ 午前11時　全国瞬時警報システム（J-ALERT）の全国一斉情報伝達訓練（試験放送）を実施

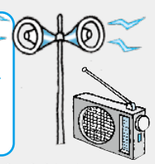
危機管理課災害対策係　☎22-1242

同システムの動作確認のため、防災行政無線などの試験放送を実施します。

実際の災害とお間違えのないようご注意ください。

▶放送内容

♪上り４音チャイム
「これはテストです（３回繰り返し）、こちらは防災いわき広報です」
♪下り４音チャイム



※当日は、市防災メール、FMいわき緊急割り込み放送にも、試験放送と同内容の情報を配信します。
※災害の発生や、気象状況などによっては、訓練を中止する場合があります。